

ザ・コレクション

星のような



かけらを見つめて、

のこすこと／のこされるもの

2018年12月8日(土)ー2019年2月11日(月・祝) 芦屋市立美術博物館

開館時間ー10:00ー17:00(入館は16:30まで)/休館日ー月曜日(ただし12/24・1/14・2/11は開館、12/25・1/15は休館)、年末年始(12/28-1/4)、観覧料ー一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料 所( )内は20名以上の団体料金 ※ 高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者の方は各当日料金の半額になります。 ※観覧無料の日=12月24日(月・祝)、2019年1月14日(月・祝) (会期中の毎週水曜日はトークフリーデー(会話を楽しむ美術の時間))  
主催ー芦屋市立美術博物館 後援ー兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE  
■同時開催=「昔のくらし」/芦屋市立美術館 平669-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25 TEL 0797-38-5432 ashiya-museum.jp



見えたもの。



展覧会名	The Collection 星のような ー のこすこと／のこされるもの
会 期	2018年12月8日(土)ー 2019年2月11日(月・祝)【51日間】
開館時間	午前 10 時ー午後5時(入館は午後4時 30 分まで)
会 場	芦屋市立美術博物館
休 館 日	会期中の月曜日(ただし12/24,1/14,2/11は開館、12/25,1/15は休館)、年末年始(12/28-1/4)
観 覧 料	一般 500(400)円、大高生 300(240)円、中学生以下無料
	<p>□ 同時開催「昔のくらし」</p> <p>※( )内は20名以上の団体料金</p> <p>※ 高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護者の方は各当日料金の半額になります。</p> <p>※観覧無料の日:12月24日(月・祝)、2019年1月14日(月・祝)</p> <p>◇会期中の毎週水曜日はトークフリーデー(会話を楽しむ美術の時間)</p>
主 催	芦屋市立美術博物館
後 援	兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE

## 開催概要

当館では、美術作品とともにスケッチ帳や日記帳、手書きの原稿や写真資料など、作家の関係資料も収蔵・保管しています。中には、谷崎潤一郎が小説『夢喰う虫』の挿絵を依頼した小出檜重宛ての書簡や、滞欧時に檜重が家族や親しい人へ宛てた手紙のほか、藤田嗣治や荻須高德らが書き綴った大橋了介への葉書、大橋と写る佐伯祐三や山口長男らの写真、伊藤継郎が所属していた二科会や新美術家協会、新制作派協会などでの宴席や料理好きだった伊藤が小磯良平や竹中郁を招いた食事会での記念写真など、私的な部分に触れる資料も多く存在します。自画像のような凛とした佇まいではなく、家族として、また志をともにする仲間としてくつろぐ作家のもう一つの顔を見ることができこれらの資料は、作家の家族や親せき、親しい人たちが、思い出とともに大切に保管していたものでした。その思いとともに残された資料が、視点を変えることでその時代の美術の歴史を紐解く重要な発見となります。あたかも、夜空に輝く星がつながり星座となるように、残された資料がその作家の形を浮かび上がらせてくれるのです。

この度、小出檜重や大橋了介、伊藤継郎のほか、芦屋カメラクラブや具体美術協会の関係資料などを所蔵作品とともに紹介し、作家像やグループ像に迫ります。

## 展覧会の特徴

### ▼新出資料・作品を展示▼

#### 大橋了介関係資料

平成29年度に収蔵された大橋了介（1895-1943）の関係資料から、大橋が渡欧時に行動をともにしていた荻須高德や山口長男らをはじめ、大橋に多大な影響を与えた佐伯祐三との交流が伺える滞欧日記（1927年9月頃－1932年9月頃）のほか、師である岡田三郎助、交流のあった藤田嗣治らとの写真、高村光太郎や小磯良平、田中忠雄らと交流が伺える資料を初公開します。

#### 小出檜重関係資料

小出檜重（1887-1931）は、1920年7月に俳人・小説家の高濱虚子、建築家の山崎樂堂、大阪朝日新聞記者大道弘雄、文芸評論家勝本清一郎とともに別府、耶馬溪、道後温泉に遊びました。また、1921年8月にヨーロッパに向かう航路の途中で母親らと別府に一泊しているほか、亡くなる前年の1930年7月には家族とともに別府へ旅行し、16mm映画「別府行紅丸にて」を撮影しており、檜重は幾度も別府を訪れています。

近年、別府の老舗旅館として知られた日名子旅館の主人日名子太郎（初代別府町長）へ宛てた檜重の葉書が見つかりました。1920年9月に開催された第7回二科展の入賞に関することや、1921年8月より約半年にかけて滞欧した先から近況を便りにしたためており、20年の別府旅行以来、親交を深めていたことがわかります。この度新出資料として展示します。

#### 芦屋アートマップ（仮称）を作成

展覧会にあわせて、芦屋市内のアートマップを作成します。

市内には多くの美術作品が存在し、市民の方々の心を豊かにしてくれています。美術博物館を出た後も芦屋を楽しんでいただきたいと願い、この度本展にあわせて発行します。（体裁配布方法等はお問合せください）

## 写真資料



1

1 | 大橋了介 モランにて 荻須高德、佐伯祐三、山口長男  
1928年 芦屋市立美術博物館蔵



2

2 | 伊藤継郎 アトリエにて 白髪一雄、村上三郎らと  
1950年頃



3

3 | 芦屋カメラクラブ 六甲山にて  
ハナヤ勘兵衛、中山岩太、紅谷吉之助、高麗清治  
1930年



4

4 | 小出檣重 妻重子と  
1928年

## 作品



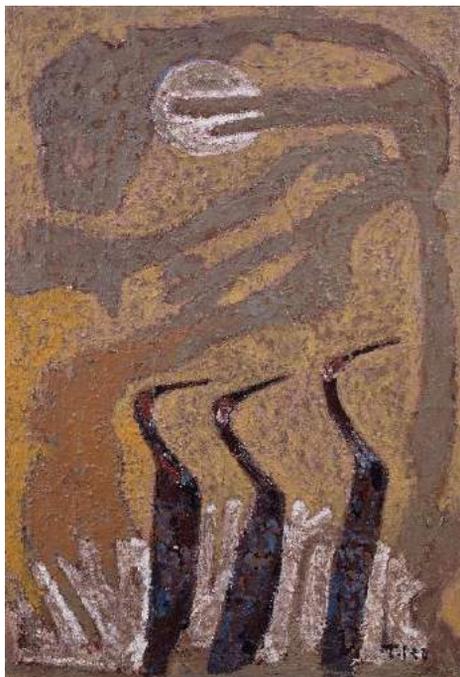
5



6



7



8



9

5 | 小出 檣重

《自画像》1920年 油彩、板

6 | 吉原 治良

《作品》1956年 油彩、布

7 | ハナヤ 勘兵衛

《船C》1930年

セラチンシルバー・プリント

8 | 伊藤 継郎

《鵜》1965年 油彩、布

9 | 大橋 了介

《街角の風景》1929-33年  
油彩、布

全て芦屋市立美術博物館蔵

本展の画像データをプレス掲載用にご用意しております。ご希望の際は別紙(申込用紙)にご記入のうえ当館までご連絡ください。

## —資料—

▼大橋了介関係資料 芦屋市立美術博物館蔵

▼伊藤継郎関係資料\*

▼小出檣重関係資料\*

▼ハナヤ勘兵衛関係資料\*

▼具体美術協会関係資料\*

\* 芦屋市立美術博物館寄託

資料・作品等 約130点 (予定)

## 関連イベント

## (1) 講演「家族から見た作家像」(仮称)

トーク「家族から見た作家像」(仮称)

日時:2019年1月20日(日) 14:00-16:00 (予定)

会場:当館講義室

語り手:桑田敬司(写真店「ハナヤ勘兵衛」4代目、ハナヤ勘兵衛曾孫)、

吉村有子(アーティスト・伊藤継郎孫)

聞き手:河崎晃一(甲南女子大学教授)

会場:講義室

定員:60名

\*聴講無料(ただし要観覧券) \*申込不要、直接会場へお越しください。

## (2) ワークショップ「オリジナルの額に絵を飾ろう」

日時:12月16日(日) 13:30-16:30

会場:体験学習室

対象:小学生以上のどなたでも

定員:30名

材料費:300円(高校生以上は、要観覧券)

申込方法:電話(0797-38-5432)にて、氏名、住所、年齢(子どものみ)、電話番号をお伝えください。

締切/12月7日(金)17:00まで \*応募者多数の場合は抽選。

## (3) ボランティアによる美術館ツアー

会期中の水曜の13:00-(約45分)

\*聴講無料(ただし要観覧券)

## (4) 学芸員によるギャラリートーク

日時:12月15日(土)、2019年1月26日(土)、2月9日(土) 両日とも14:00-(約1時間)

\*聴講無料(ただし要観覧券)

## 会期中のその他関連イベント

## ○アートスタディプログラム まなびはく「松谷武判の仕事」

日時:12月22日(土) 14:00-16:30 定員80名 \*申込不要、直接会場へお越しください。

講師:松谷武判(美術家)

## ○ミュージアムエデュケーション研究会2018 みんなの学美場「あいするデザイン」

日時:2019年1月19日(土) 13:30-16:00 定員15名 \*要事前申込(締切1月5日(土))

講師:角谷慶(グラフィックデザイナー)

詳しくは当館HPをご覧ください。

問い合わせ先 【企画内容に関して】担当学芸員:大槻 晃実 TEL:0797-23-2666(学芸直通)

【画像貸出など広報について】総務課 TEL:0797-38-5432(代表)

芦屋市立美術館 〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25

ホームページ <http://ashiya-museum.jp/>

Inherit the Shining Stars ☆

ザ・コレクション

## 星のような

## のこすこと/のこされるもの

2018年12月8日(土)—2019年2月11日(月・祝)

FAX連絡先

(0797)38-5434

ご希望の写真番号に○をつけてご返送をお願いいたします。本展をご掲載いただける場合、  
読者・視聴者プレゼント用招待券(10組20名様まで)もご用意しておりますので、お気軽にご連絡ください。

番号	作家名・資料名・作品名・制作年・素材・所蔵元など
1	大橋了介 モランにて 荻須高德、佐伯祐三、山口長男 1928年 芦屋市立美術博物館蔵
2	伊藤継郎 アトリエにて白髪一雄、村上三郎らと 1950年頃
3	芦屋カメラクラブ 六甲山にて ハナヤ勘兵衛、中山岩太、紅谷吉之助、高麗清治 1930年
4	小出楢重 妻重子と 1928年
5	小出楢重 《自画像》1920年 油彩、板 芦屋市立美術博物館蔵
6	吉原治良 《作品》1956年 油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵
7	ハナヤ勘兵衛 《船C》1930年 ゼラチンシルバー・プリント 芦屋市立美術博物館蔵
8	伊藤継郎 《鶉》1965年 油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵
9	大橋了介 《街角の風景》1929-33年 油彩、布 芦屋市立美術博物館蔵

貴社名	
媒体名	(新聞・雑誌・ミニコミ・TV・ラジオ・その他)
ご担当者名	
ご住所	〒
電話番号	TEL FAX
メールアドレス	@
URL	
掲載・放送予定日	
写真到着希望日	
招待券希望枚数	組 名分希望

写真データの使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを当館までお送りくださいますようお願い申し上げます。

また本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合には、事前にご連絡ください。